

事務事業実績測定調書

R4調書番号 125

事務事業名称	後期高齢者医療広域連合負担金交付事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	市民生活部			課	後期高齢者医療課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標		6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	2008(H20)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、大阪府後期高齢者医療広域連合規約				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	大阪府後期高齢者医療広域連合			
	サブターゲット	75歳以上のすべての人及び65歳以上75歳未満で一定の障害のある人(生活保護受給者を除く)			
	ターゲットが抱える課題	将来にわたり増加し続ける被保険者に対し円滑な事務事業の遂行と継続			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市町村負担金の交付が適切に行われている				
事業概要	高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、都道府県に設置の「大阪府後期高齢者医療広域連合」に対して、運営等に係る人件費や事務費を含む運営経費について、市町村負担金を交付する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明													
	指標種類													
	指標数値	目標 (見込み)												
		実績												
	達成度													

3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	0.20
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	798	786	1,562		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	798	786	1,562		
	物件費計	10,648,619	10,942,668	10,603,855	11,646,623	91.0%
歳出計		10,649,417	10,943,454	10,605,417		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の物件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	6,659,627	6,810,095	7,409,820	7,385,724	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	6,659,627	6,810,095	7,409,820	7,385,724	
一般財源（物件費に充当されるもの）		3,988,992	4,132,573	3,194,035	4,260,899	

5. 総括的分析

総括的分析	後期高齢者医療制度の運営のために、広域連合負担金を交付した。
-------	--------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	制度に則り、適正に事務を遂行する。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 126

事務事業名称	後期高齢者医療事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	市民生活部			課	後期高齢者医療課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標		6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的業務事業
事業期間	2008(H20)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、高齢者の医療の確保に関する法律施行令、高齢者の医療の確保に関する法律施行規則				
関係補助金名称			サンセット	～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	75歳以上のすべての人及び65歳以上75歳未満で一定の障害のある人(生活保護受給者を除く)			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、75歳以上のすべての人及び65歳以上75歳未満で一定の障害のある人(生活保護受給者を除く)は後期高齢者医療制度の対象となる			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	適正な被保険者証の引渡し、各種申請や届出の受付等ができています。				
事業概要	<p>大阪府下の全市町村が加入する「大阪府後期高齢者医療広域連合」が主体となり、市町村と分担して事務を処理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域連合:被保険者の資格管理、被保険者証の交付、医療等の給付等 ・枚方市:各種申請や届出の受付、被保険者証の引渡し等 <p>本市被保険者数:55,088人(2020年3月末現在)</p>				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
			窓口運営が円滑に行える。				被保険者証の引渡しや各種申請等の受付を適切に行う。			
指標設定	指標説明		窓口平均待ち時間(繁忙期含む)				各種申請等、窓口での受付件数			
	指標種類		減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)		10	10	10	10	21,200	22,500	23,900	25,400
	実績		9	6	4		17,724	16,861	18,779	
達成度			160%				121%			

3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	3.20
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	3.07
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	27,514	26,321	24,998		
	会計年度任用職員	5,550	4,414	6,909		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	33,064	30,735	31,907		
	物件費計	56,116	57,142	80,475	100,018	80.5%
	歳出計	89,180	87,877	112,382		
歳入	国庫支出金	992	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	54,885	57,142	80,475	97,490	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	55,877	57,142	80,475	97,490	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	239	0	0	2,528	

5. 総括的分析

総括的分析	令和4年度は窓口負担2割化による被保険者証2回交付の影響で窓口件数が増加したが、効率的な窓口運営により平均待ち時間を短くすることができた。また、課内全職員に人権研修を行い市民に寄り添った対応にも心がけた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	令和5年度以降も、団塊世代の75歳年齢による被保険者の増加傾向が続き、窓口受付が増えることが予想される。経験を活かしたコミュニケーションスキルで丁寧かつ迅速な窓口サービスを行うとともに、本務職員と会計年度職員の役割分担を整理した上で効率的な窓口運営を行うことで、さらなる待ち時間の縮減に努める。また、今後も引き続き、市民に寄り添った対応を念頭にしつつ、窓口業務マニュアルの充実を図り、受付を円滑に運営する。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 127

事務事業名称	後期高齢者医療特別会計繰出金事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	市民生活部			課	後期高齢者医療課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	2008(H20)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	75歳以上のすべての人及び65歳以上75歳未満で一定の障害のある人(生活保護受給者を除く)			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	将来にわたり増加し続ける被保険者に対し円滑な事務事業の遂行と継続			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	一般会計からの繰出金が後期高齢者医療特別会計へ適切に支出されている。				
事業概要	後期高齢者医療特別会計に一般会計から繰出金を支出する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)	
指標設定	指標説明				
	指標種類				
	指標数値	目標 (見込み)			
		実績			
	達成度				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.05
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	399	393	391		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	399	393	391		
	物件費計	1,158,761	1,183,171	1,260,477	1,291,889	97.6%
	歳出計	1,159,160	1,183,564	1,260,868		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の物件費については、人員配置をもとに平均物件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	754,043	773,032	828,285	828,285	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	754,043	773,032	828,285	828,285	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	404,718	410,139	432,192	463,604	

5. 総括的分析

総括的分析	後期高齢者医療特別会計は、2008年度から施行の「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき事務事業を実施した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き制度に則り、適正に事務を遂行していく。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 145

事務事業名称	後期高齢者医療保険料徴収事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	市民生活部			課	後期高齢者医療課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標		6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	2020(R2)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、高齢者の医療の確保に関する法律施行令、高齢者の医療の確保に関する法律施行規則				
関係補助金名称			サンセット	～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	75歳以上のすべての人及び65歳以上75歳未満で一定の障害のある人(生活保護受給者を除く)			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	全被保険者に賦課される保険料の徴収における適正性及び公平性の確保			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	全被保険者に賦課される保険料を適正に徴収することで、公平性が確保されている。				
事業概要	広域連合が賦課決定した後期高齢者医療保険料について、徴収に係る事務を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						保険料の滞納が減少し収納率が向上する。				年齢到達直後など普通徴収の被保険者に口座振替の利用を勧奨する。			
指標設定	指標説明					保険料収納率 【算出式: 収納額/賦課額×100】				普通徴収における口座加入率 【算出式: 口座振替対象者数/普通徴収対象被保険者数×100】			
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
						単位				単位			
						%				%			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					99.52	99.54	99.56	99.58	75	75.50	76	76.50
	実績					99.65	99.65	99.66		79.47	78.80	79.24	
	達成度					100%				104%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	3.10
再任用	0.00
任期付職員	0.50
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	28,710	25,142	26,357		
	会計年度任用職員	2,235	2,589	1,124		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	30,945	27,731	27,481		
	物件費計	15,826	19,460	20,763	39,357	52.8%
	歳出計	46,771	47,191	48,244		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	8,399	21,069	20,763	24,868	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	8,399	21,069	20,763	24,868	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	7,427	0	0	14,489	

5. 総括的分析

総括的分析	令和4年度から年3回送付としていた催告書について年4回送付に拡充し、納付催促を強化した。新型コロナウイルス感染症による影響もあり、訪問による徴収活動が積極的にできなかったことから、未納者に対して電話による督促を行った。また、保険料の納付が困難な方への丁寧な納付相談を行い、分割納付による徴収や必要に応じて減免制度の利用に繋がった。銀行届出印が不要な口座振替登録用のペイジー端末を購入し、来庁時を捉えて更なる口座振替利用の勧奨を行った。これらの取組により、令和4年度の口座振替率が0.44ポイント増加するとともに、保険料の収納率は0.01ポイント増加した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	滞納を発生させない予防的取り組みとして、年齢到達や転入による資格取得、特別徴収から普通徴収に切り替わる場合など様々な機会を捉え、口座振替依頼書を郵送するなど、口座振替利用勧奨を徹底する。また、口座振替において、残高不足等により徴収できなかった場合には、口座振替不能通知や納付書（督促状）の発送を行い、特に特別徴収の中止の申し出をした被保険者で口座振替不能が一定以上続く場合は、特別徴収に戻す予告通知をすることで納付促進に繋げていく。納付が困難な方には、分納相談を通じて納付勧奨を行い、さらに、支払催告に対して支払に応じない滞納者については、債権回収課へ随時債権を移管し、資産があるにも関わらず滞納状態が改善されない場合は差し押さえなど滞納処分に繋げていく。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 932

事務事業名称	後期高齢者医療課運営事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	市民生活部			課	後期高齢者医療課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	後期高齢者医療課に在籍する職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	課の運営を円滑に図る必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課の運営が円滑に行われる				
事業概要	課の運営事務				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明													
	指標種類													
	指標数値	目標 (見込み)												
		実績												
	達成度													

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.45
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.59
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	-	10,214	11,327		
	会計年度任用職員	-	1,712	1,261		
	特別職非常勤	-	0	0		
	附属機関委員	-	0	0		
	人件費計	-	11,926	12,588		
	物件費計	-	0	0	0	
	歳出計	-	11,926	12,588		
歳入	国庫支出金	-	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	-	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	-	0	0	0	
	市債	-	0	0	0	
	その他	-	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	-	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	-	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	課運営における行政事務及び庶務事務を円滑かつ適正に執行した。
-------	--------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、課運営における行政事務及び庶務事務を円滑かつ適正に執行していく。